

# 就労体験の成果 ー和光高校意見交換会報告ー

高校生社会体験活動支援委員会 副委員長 山口 和範 (東松山RC)

去る1月25日、埼玉県立和光高等学校において、就労体験活動の意見交換会が開催された。ロータリーからは私のほか、真下和男パストガバナーと宮原克平青少年奉仕部門委員長の3人で出席した。この高校生社会体験活動は、埼玉県が中退防止を目的として平成18年度から始めた事業で、今回で11回目になる。当地区も2770地区と共同で当初から協力しており、毎年知事から表彰されている。今年度、当地区は6校に協力し、和光高校は昨年11月中旬の一週間を使って、1年生が周辺の73事業所で就労体験した。意見交換会当日は、生徒代表8人が感想を発表したほか、事業所の方々にも問題点等をご指摘頂き、活発に意見交換ができた。就労体験後の「生徒の成長」が何よりの成果と、学校側もこの事業による変化に目を見張っている。当初は3%以上でワースト2(46位)だった埼玉県の中退率も、この事業の甲斐あって、最近では1.3%(17位)にまで大きく改善している。

人が最も幸せに感じるのは「人から認められること」と言われる。職業奉仕を宗とする我々ロータリアンとしても、この事業を通じて多くの高校生を認めてあげ、彼ら彼女らの今後の学校生活や人生の「やる気」を高める手助けをしていきたい。

